

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町 1 番 10 号 住友精密工業（株）本社内
 TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

2019 年度（第 12 回）西日本支部総会開催

2019 年度（第 12 回）西日本支部総会が、10 月 11 日（金）15：30～16：10 までの間、兵庫県尼崎市の「都ホテル尼崎」3F の「鳳凰 北の間」で開催されました。当日は、田岡西日本支部長兼副会長及び支部会員の皆様方や本部から石川会長を初め、副会長、監事、理事の皆様方に加え近畿経済産業局製造産業課小橋厚司課長殿を初めとするご来賓及び関連団体関係者等総勢 42 名の皆様方が出席されました。

支部総会は田岡副会長兼西日本支部長の挨拶で始まり、以下の議事次第により議事が進行し 16：10 に無事終了しました。



挨拶をする田岡西日本支部長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 12 回西日本支部総会開催・・・・・・・・・・	1	広報・PR 事業・・・・・・・・・・	9
委員会開催・活動状況		中小企業関連事業・・・・・・・・・・	9
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・・・	4	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・	10
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・	5		
技術調査事業・・・・・・・・・・	6		

（一社）日本フルードパワー工業会

URL：http://www.jfpa.biz/

なお、今回は支部総会の前に、住友精密工業（株）のアレンジで咲洲コスモスタワーと夢洲ひかりの森の見学会を行いました。



夢洲ひかりの森見学会

第 12 回西日本支部総会議事次第

1. 開 会
2. 前支部長挨拶 田岡西日本支部長兼副会長
3. 御来賓紹介
4. 会長挨拶 石川会長
5. 御来賓祝辞 小橋厚司近畿経済産業局製造産業課長
6. 本部報告 藤原専務理事
7. 支部報告 八木住友精密工業(株)油機事業室長
8. 閉 会

定刻に支部事務局より支部総会の開催宣言があり、田岡支部長より以下の挨拶がありました。

「皆様本日はご多忙中、また台風接近によりお帰りの足が心配される中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。西日本支部長、住友精密工業の田岡でございます。本総会の前には、恒例によりまして工場見学を企画させていただきました。今年は、夢洲にあります大阪ひかりの森の見学に多くの方にご参加をいただきました。ありがとうございました。実は、この大阪光の森につきましては、昨年も計画しておりましたが台風 21 号により被害を受けまして、急遽場所を変更した経緯がございます。管理者のご努力で復旧いたしまして今回の見学が実現いたしました。一方で、今年は9月の台風15号の直撃で首都圏、特に千葉県では家屋の損壊や長期の停電など多大の被害を受けました。また、今將に、台風19号が東海から関東に向けて接近中でございます。更なる被害が懸念されます。こうやってみますと。日本は地震だけでなく毎年台風などの被害を受けており、自社、あるいは関係会社だけでなく産業界全体でこれらリスクに対する備えが必要であると感じております。

さて、我々関西経済の状況であります、やは

り米中の貿易戦争が影響していることは皆様も実感されていることと思います。昨年この場でこの貿易戦争が長引くことを懸念しておりましたが、やはり今年も、この貿易戦争の早々の解決を望むものです。一方で、万博誘致委員会ははじめ関係各位のご尽力によりまして、2025 年に大阪関西での万博開催が決まりました。本日見学させていただきました夢洲で、「いのち輝く未来社会のデザイン」をメインテーマに開催されるということで来場予定者数は2800万人、経済波及効果は2兆円という一大プロジェクトでございます。また、その跡地利用につきましても様々な案が持ち込まれているようですので、関西企業への波及効果はこれまでにない大きさになることは間違いないと思われます。絶えることなく押し寄せてくる自然災害、米中の貿易戦争の影響にも耐え忍び、万博誘致を起爆剤として生まれ変わる関西、そして産業界の発展を皆様とともに実現していきたいと切に思っております。

最後になりますが、本日の支部総会にご参集いただきました関係各社、各機関の皆様方の益々のご健勝とご活躍を、そして会員各社様の益々のご発展を祈念いたしまして、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。」

その後、事務局から来賓の紹介があり、石川会長より以下の挨拶がありました。



挨拶をする石川会長

皆様こんにちは。只今ご紹介賜りました会長の石川でございます。西日本支部の総会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。まず始めに、先ほど田岡支部長からもお話がありましたように、台風19号が接近し週末の足に大変な懸念がある中、経済産業省はじめ多くの皆様方にご臨席いただきましたこと大変ありがとうございます。先だつての台風15号につきましては、私も実は自宅を

千葉の方に持っておりまして、本当に久しぶりに停電の経験をしたわけでございますが、その傷がまだ癒えないうちにまた新しい台風ということで、進路にあたる方はご苦労ばかりであります、前回に比べますと色々な準備がされていると思いますが、被害が少なくて済むことを祈っている次第でございます。

さて、足元の景況感について、少しお話をさせていただければと思います。工業会の数字を見てみますと、この第一四半期の油圧の出荷額でございますが、モバイルは対前年比プラス3%とまずまずでございましたが、一般産機の方はマイナス13%、空気圧はマイナス17%と芳しくない状態が続いております。終わったばかりの第二四半期Q2も現時点での見通しでは芳しくないというような状況であります。そういう中でいくつかの明るい話題として、半導体業界ではそろそろ底を打って回復が始まるという話も聞いております。かつての半導体業界が見せた力強い回復には至らない感じですが、弱含み一辺倒の話題とは違った明るいニュースが出始めているのはでないかと思えます。

また、最近の経済情勢でございますが、元をたどってみますとやはり米中の貿易戦争が始まりだと思えます。ちょうど昨年の今頃、実際には昨年の7月にアメリカが中国からの輸入品に対して関税を上乗せすることを始めております。元々は、トランプ大統領が、アメリカ第一という方針の下、貿易不均衡を是正するという形で中国との貿易赤字を減らすということから始まった施策であります。途中から貿易不均衡を減らすという経済問題から、二大国間の覇権を争うような動きへと変化していき、約1年が経過する中で、当初のアメリカが想定したシナリオとはいくつか違うことが起こってきているようにも思えます。アメリカは、当初自国の経済が非常に好調で強いという意識から、自国への経済ダメージはそう大きくはないだろうとみており、そのような中で、中国からの妥協を引き出したいという動きがあったと思えます。しかしながら、実際には中国はアメリカが思ったようには決着をしない状況となっており、一方のアメリカも強い経済を背景にカードを切ったわけですが、ここに来てアメリカ経済も弱含みになってきております。やはり中国は共産党一党が国をコントロールする国であり、一方アメリカは、来年に大統領選挙を控えるということで、アメリカ自身が現在の状況が続けるこ

とは次の大統領選にとってどうなるのかという見方が出て来ているように思います。中国はそういったアメリカの動きを見通しながら非常に慎重な行動を続けているように感じます。ここからは、事態を楽観的に見たシナリオかもしれませんが、アメリカが選挙に向けて自国の経済を戻すために何らかの妥結あるいは妥協を中国と試みた場合に、その妥結・妥協が世界経済全体にとって好ましい方向に行ってくれるようであることを望むわけです。そういった動きが仮に起こってくれるのであれば、現在の閉塞感のある経済環境を良い方向に変えていくというような期待も持っております。いずれにいたしましても、現在は不透明感ある経済状況には変わりないと思えます。会員各社様におかれましても、足元の状況を注意深くご覧になって、それぞれの環境下の中で適切なかじ取りをしていくことが私達にとって重要なことでないかと思えます。やや個人的意見が入ってしまった挨拶になり恐縮でございますが、希望的観測も含めてこのようなことを考えている次第です。

最後になりますが、西日本支部のこれからの発展とここにご来席の各社様のご発展ご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

次に来賓を代表して近畿経済産業局小橋厚司製造産業課長よりご挨拶をいただきました。



ご挨拶をされる小橋課長

つづいて、本部報告を行った後に支部報告・支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め了承され、定刻に無事終了いたしました。

第87回理事会

支部総会終了後16:10から同じ会場で第87回理事会を開催しました。理事会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。初めに事務局から本理事会への理事

の出席状況について報告が行われ本理事会が有効に成立している旨説明しました。石川会長の議事進行により審議に入りました。議長は来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の安田課長補佐に挨拶を要請し、同氏から挨拶を兼ねて令和 2 年度の経済産業省関係概算要求のポイントについて説明がありました。



ご挨拶をされる安田課長補佐

次に議長は、議事録署名人として代表理事及び監事 2 名を指名し、議事次第に基づき議事の審議に入り、提案議案は全て承認されました。

第 1 号議案

2019 年度収支予算書見直しの件

(株)野村総合研究所からの「2019 年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費」に関する委託費決定に伴う件、受託金額が 6,598,122 円にて決定したので、本理事会で予算の見直しに関して承認をお願いしたい旨説明を行った。議長は、本件を議場に諮り、審議の結果異議なく承認されました。

第 2 号議案

次回 JIMTOF の開催の件

2020 年の JIMTOF の開催について、パンフレットに基づき内容を報告した

その他の議案

資料により今後の予定スケジュール、第 88 回理事会・年始会の開催、第 21 回定時総会等について説明した。以上で審議を終え 16:40 に無事終了した。

その後、16:50 より 2 階の「鳳凰 すみれの間」で、支部会員及び学会等の関係機関の方々と出席理事を交えた合同懇親会を開催しました。はじめに田岡西日本支部長が開会の挨拶と乾杯を行い、参加者一同懇親を深めました。その後、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会田岡支部長挨拶乾杯



合同懇親会会場

なお、翌日計画されていた「マスターズゴルフ倶楽部」での「2019 年度西日本支部懇親ゴルフ会」は、台風 19 号接近に伴い、中止いたしました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

標準化事業／ISO 対策事業

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ISO/TC131 ミラノ国際会議

10 月 7 日から 16 日まで、イタリア・ミラノにおいて、ISO/TC131 関連 (SC3/WG1、SC4/WG1、SC4/WG2、SC4/WG4、SC4/WG6、SC4/WG9、SC4、SC5/WG3、SC6/WG1、SC6/WG2、SC6、SC7/WG3、SC7/WG4、SC7、SC8/WG1、SC8/WG14、TC131/WG1) の国際会議が開催された。

日本からは、根本委員 (SMC)、難波委員 (日本ポール)、高牟礼 SC7 議長 (JFPA)、中尾委員 (NOK)、大沼委員 (NOK)、吉田委員 (キーパー)、柳田教授 (豊橋技術科学大学)、大林委員 (KYB)、大野委員 (JFPA)、風間委員 (日本アキュムレータ)、杉村委員 (日本アキュムレータ) の 11 名が参加した。

各委員、日本の意見の反映に努め、一定の成果を

収めることができた。会議の詳細については、後日、報告書を作成・発行します。



会議場となったイタリア規格協会(UNI)

油圧バルブ分科会

日 時 10月30日(水) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 浦井主査以下9名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、6月に開催された技術標準化委員会の報告があり、今年度の活動計画が承認された旨、報告があった。

次いで、ISO 投票案件について審議した。ISO/FDIS 4411.2 は、日本指摘が採用されているにもかかわらず修正されていない箇所があったので、修正の再指摘付きで賛成投票した。また、ISO/SR 16874 については、特に問題ないため Confirm にて投票することとした。

次いで、5月に開催された ISO/TC131 パリ会議と10月に開催された ISO/TC131 ミラノ会議の報告があり、情報共有した。

次いで、JIS B 8357 の改正について、討議した。2020年8月開始の JIS 公募にて改正する予定で進め

ることとした。

次いで、ポケットブックの改訂について、当分科会で作業する内容に関して討議した。

次回開催：2020年1月30日、機械振興会館

*ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO/TR 10946:2019, Hydraulic fluid power – Gas-loaded accumulators with separator – Selection of preferred hydraulic ports

ISO 3601-1:2012/Amd 1:2019, Fluid power systems – O-rings – Part 1: Inside diameters, cross-sections, tolerances and designation codes – Amendment 1

ISO 20145:2019, Pneumatic fluid power – Test methods for measuring acoustic emission pressure levels of exhaust silencers

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/DIS 7425-1, Hydraulic fluid power – Housings for elastomer-energized, plastic-faced seals – Dimensions and tolerances – Part 1: Piston seal housings

ISO/DIS 7425-2, Hydraulic fluid power – Housings for elastomer-energized, plastic-faced seals – Dimensions and tolerances – Part 2: Rod seal housings

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

水圧システム分科会 (第5回) 2019

開催日 10月10日(木)

場 所 機械振興会館 B3-8

出席者 大林主査以下5名

事務局 宮川、大橋

議 事

1. ISO/TC131-SC8-WG14 ミラノ会議 (10月15日)

大林主査から、画像資料によりポンプ試験方法 WD 関連の一連の提出資料の説明があった。また、次の NP 予定の用語・定義規格案に関するプレゼンテーションの内容確認を行った。

2. 今後の ISO 標準化マップ案

主査から、ADS 国際標準化推進委員会の来年度以

降の計画に関するヒアリング（10月下旬）に向けて作成した、今後作成する規格のマップ案が説明された。取り組み手順は、規格試案のできている機器の試験方法から順に進めることとした。

次回開催：11月13日（水）13：30～、機振会館 B3-6

空気圧制御技術分科会

日 時 10月24日（木）13：00～16：00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 渡辺主査以下 3 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、本年 6 月に開催された技術標準化委員会の報告があり、本年度の活動計画が承認された旨の報告があった。

次いで、空気圧ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

次回開催：2020 年 1 月 24 日、機械振興会館

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 10月28日（月）13：00～16：00

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 難波主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、山田委員（大生工業）から水落委員に交代された。

前回議事録の確認後、JIS B 9933 の改正について、対応国際規格（ISO 4406）の変更箇所に対する JIS の対応修正箇所を確認し審議した。本原案にて日本規格協会に様式調整提出した後、JIS 原案作成本委員会にて審議頂くこととした。

次いで、今月開催された ISO ミラノ会議の報告があった。

次いで、ポケットブックの改訂について、当分科会で作業する内容に関して討議した。

次回開催：2020 年 2 月 13 日、機械振興会館

～～～～～～～～

技術調査事業

～～～～～～～～

油圧ポケットブック編集委員会

日 時 10月1日（火）13：00～16：30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 北川委員長以下 7 名

事務局 前畑、大橋

議 事

まず、今回審議範囲の担当委員より改正検討結果の説明がなされ、審議された。第 1 章（油圧技術の特質と基礎事項）では、式の誤記訂正の指摘があった。第 2 章（油圧・空気圧システム及び機器一用語及び図記号）では、図記号を JIS 最新版に合わせることを指摘があった。第 5 章（基本回路）では、回路例を増やすこと、また、図の位置とその説明文の位置関係が適切でなく理解しづらい箇所を見直すことの指摘があった。

次いで、前回の審議内容の再確認事項について説明がなされ、確認を行った。

次いで、次回以降の審議範囲と日程について討議した。

次回開催：11月29日、伊豆ユートピア会議室

技術委員会水圧部会（2019 年度第 1 回）

日時 10月10日（木）15：00～17：00

場所 機械振興会館 B3-8 号会議室

出席者 宮川部会長以下 14 名

事務局 大橋

最初に新委員と委員交代の紹介、名簿の確認を行い、ISO 関連業務などの影響により本年度の部会開催が遅れたことの説明の後、議事に入った。

1. 2019 年度以降の水圧部会の進め方

宮川部会長より、配布資料に基づき平成 30 第 3 回水圧部会における宿題の回答・コメント集の説明がなされた。引き続き、部会のこれまでの活動を振り返ったうえで、ADS 市場の調査と導入のプロセスについてマップを用いた解説及び各企業における担当者の活動の在り方などについて提言がなされた。

2. 市場調査（MR）グループ

田辺委員より、本年度実施した見本市調査報告の紹介と、大林委員ほか調査担当者からの報告があった。第 22 回関西機械要素展（10/2～4）に堀内機械、広瀬バルブ工業の 2 社が出展したことも紹介された。

3. 広報 PR（PR）グループ

松村委員より、ブログ更新の実績とアクセス状況の報告があり、併せて記事案作成の協力要請があった。

次回開催：2019 年 12 月～20 年 1 月とし調整

技術委員会空気圧部会第 564 回特許分科会

日 時 10月11日（金）12：30 ～ 17：00

場 所 西宮市立勤労会館 3 階 第 3 会議室

出席者 河野幹事以下 3 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、ウォッチング中の案件については引き続きウォッチングしていくこととした。1 件については、異議の決定がなされた。引き続き経過をウォッチングする。2 件については引き続き調査を行うこととした。

2019 年 9 月末現在収支報告書と特許事務所支払明細の報告について承認を得た。

次回開催：11 月 8 日（金）機振会館 6-61 会議室

技術委員会油圧・空気圧部会若手技術者懇談会

日 時 10 月 24 日（木）13：30 ～ 19：00

場 所 (株)ミットヨ 測定博物館

出席者 満嶋弘二・井川彰部会長以下 30 名

講 師 水谷 隆 (株)ミットヨ 顧問)

事務局 大橋

概 要

今回はフルードパワーを支える技術をテーマとして“計測”に注目し、計測機器の専門メーカーである株式会社ミットヨの測定博物館見学と講演をお願いした。油圧・空気圧に共通する話題であることから、初めての試みとして合同で実施することとした。

台風 19 号の影響により参加できなくなった申込者も見られたが、油圧 12 社 14 名、空気圧 8 社 14 名と多くの若手が参加し盛大な懇談会となった。

冒頭、満嶋部会長の挨拶とスケジュール、講師の紹介があり、井川部会長の挨拶の後、早速、第 1 部の水谷隆講師による講演「測定できないものは加工できない（長さ測定を中心に）」に移った。



左から満嶋部会長、水谷講師、井川部会長

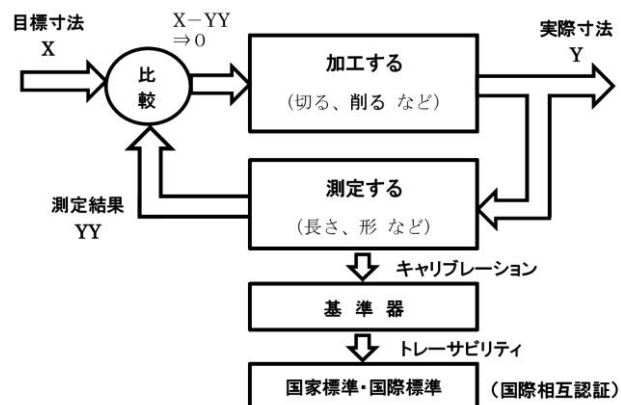
第 1 部：講演「測定できないものは加工できない」



自己紹介により講演を開始する水谷講師

水谷講師は、東京工業大学にて 1984 年に制御技術に関する学位取得後、東工大の助手、芝浦工大の講師を務めて後、1987 年に(株)ミットヨに入社し、開発研究所、海外勤務～南米ミットヨ社長を経て、現在、ミットヨ顧問、(公財)三豊科学技術振興協会理事長として後進の育成などにも携わっておられ、測定博物館の前館長でもある。

講演では「測定できないものは加工できない」を合言葉に「鉄道、自動車、航空機など産業の発展との“つながり”のうえでの計測の歴史」「20 世紀の機械加工精度の推移」などについて分かり易く解説していただいた。中でも「加工、計測、キャリブレーションの三位一体構図」の重要性を力説されていた。



三位一体の加工、計測、キャリブレーション

第 2 部：ミットヨ測定博物館見学

講演後の約 1 時間にわたる計測機器類とその歴史をたどる測定博物館見学ツアーでも、水谷講師には懇切丁寧に説明をしていただいた。

マイクロメータの原型は、1772 年にかの有名な英国のジェームス・ワットがねじ機構を応用して始めたとは参加者の誰も知らなかったものと推測する。ミットヨブランドの国産 1 号機は、1937 年に量産ロット 100 台中 17 台を販売。もちろん不合格の 83 台は「お葬式」と称し床下に埋めたという品質・性

能重視の姿勢は敬服に値する。



奥の円弧状部品は測定長 3m のマイクロメータ



J・ワットの卓上形マイクロメータ複製（壁に実物写真）

第3部：グループ討議と発表、質疑応答

見学後、油圧、空気圧混成の5グループにて、講演と見学を終えての感想などグループ討議と、各々3分間に凝縮した発表会を実施した。



グループ討議風景



グループD発表での個別質問（新井さん）



懇談会終了後の集合写真

第4部：懇親会

懇談会後の懇親会は、隣接する KSP（神奈川サイエンスパーク）のホテルの宴会場にて立食形式で行った。水谷講師に加え、現在の測定博物館長の山田秀好様、説明員の根上様の参加を得て、JFPA からの参加者 25 名が時の経つのも忘れ懇親を深めた。

事務局として多少心配していた初めての油・空圧合同開催は、成功裏に終えることができた。ミットヨ殿の細部にわたるご配慮の賜物であり、紙面を借りて感謝申し上げたい。また本年度から交代した新部会長お二人のご尽力も大きく、お礼申し上げる。

なお、詳細報告は機関誌「フルードパワー」2020 年春号（Vol. 34, No. 2）に掲載する予定である。

技術委員会 技術企画委員会（第1回）

日 時 10月31日（木）15:00～19:00

場 所 機械振興会館 311 会議室

出席者 安木秀巳技術委員長以下 3 名

事務局 藤原専務、大橋

議 事

藤原専務から、技術企画委員会設立の趣旨説明があり、来年度以降の JFPA 事業のうち技術委員会の所掌テーマに関して、コアメンバーである技術委員長と油圧・空気圧両部会長に企画立案の協力が要請された。

続いて、議論を進める上での論点として三本柱—①AI, IoT 等情報化への対応、②新たな価値創造、③人材の確保や育成一の詳細な説明があった。それぞれ世の中のトレンド及び企業のニーズに関して技術課題や解決策に対する意見交換を行った。

例えば、①の情報化への対応に関連して、鉄鋼メーカなど設備業界では予防保全から予知保全への要望がある。一方、油圧設備においてはデータ収集も十分でなく、機器の現象が設備にどのように影響するか、デジタルデータも未生成である。データのサンプリングも 10ms のオーダーになり、大量のデータの扱いは cloud を理解し使用する必要がある。原因

系を探ることが必要だが、AI、IoTは統計的処理である。さらにノウハウの問題もあり、1 レイヤー上のデータが必要である。これらの課題に関して業界が一体となって解決策を勉強するために、予知保全の先生方の講演を聞くことも企画の一例となる。

このほか、JFPAの現三部会以外に電気・電子分野の部会を設けたらどうかとの提案があった。さらに、今後、SDGsの関連では、環境評価の重要性が一層高まり、各種規制など厳しくなると予想され、若い人たちに早くからこれらの勉強させる必要がある、などの意見が出された。若手技術者懇談会や技術講演会などが、ある方向性をもってテーマを決め、必要に応じて合同で開催することも検討すべきである。

②の新しい価値の創造に関しては、数年前にJFPSの研究者との間で産学連携委員会を開催したことがあるが、現時点では進捗がない。研究テーマの一つのツールだけでなく、取り組もうとするテーマに関し、お互いにこのようなインフラを持っていますという形になると良い。

企業が共同研究や委託研究を進めようとしても研究者が分からない、世代交代が進んでいるという現実もあり、JFPS発行の研究者リストはぜひ更新してほしい。

③の人材の育成に関しては、若手の育成も必要だが、中堅も、さらには女性や外国人も含め多様化していくべきである。

JFPAでも教育事業はこの数年重点テーマとして、油圧技能士の実技・座学講習、油圧基礎講座（初級）などを充実させている。中小企業委員会では、講演会と各社の状況の報告などのほか、部長クラスの分科会で2年ごとの海外視察や、国内のユーザ業界を回って研修を続けている。次世代経営を考える会の活動などもある。

これに対し、中小企業では自社の業務分野に偏りがちなため、個別にはなかなか訪問できない研究所なども含めてJFPAで企画できないかとの意見があった。現状、中小企業の海外視察は日系企業がほとんどである。本来は地元の企業を回ることには価値があるが、言語の問題が大きい。

等々の意見交換が行われ、これらをまとめて今後の取り組みテーマ案として来年度計画に反映していくことになった。

~~~~~  
広報・PR関連事業  
~~~~~

第97回編集委員会

日時 10月18日（金）15:00～17:00

場所 伊豆高原ユートピア

出席者 手塚委員長以下12名

事務局 藤原専務、大橋

議事

手塚隆委員長の挨拶の後、宮主査の司会により議事に入った。

1. VOL. 33 発行実績報告

VOL. 33, No. 3（夏号）及びVOL. 33, No. 4（秋号）の目次にて発行実績と内容の概略を報告した。印刷数はそれぞれ970部、965部。秋号は10/15入荷、10/24前後に発送予定。

2. VOL. 34 年間企画と記事提案状況

2020年の年間企画表にて、寄稿依頼状況、未定記事、記事の傾向などを説明した。技術講座やミニ知識などの連載記事は年間を通してほぼ寄稿者が決まり、海外の窓及びルポ訪問先も充足した。

記事提案は新規および寄稿者決定記事が10件あり、HACCPやCO2削減など記載がらみと教育関連がそれぞれ複数提案された。次回WGにてミニ特集化も意識して記事化を検討する。

北川顧問から「5G」「オリンピックとF.P.」「研究室訪問」の3テーマに関する提案の説明がなされ、意見交換の後、関連話題の調査を行いWGにて具体化を進めることとした。

3. 2019年報告事項

IoT特集は、2回目として秋号に3記事掲載して一段落したが、AIも含めた関連記事もいくつか予定している。

送付先拡大は、今回、産総研ほか4か所の図書館に寄贈が決まった。また、委員増強については、一社打診中であるが回答待ち状態。

・第127回WG 12月3日15時、機振会館B3-8

~~~~~  
中小企業関連事業  
~~~~~

2019年度中小企業WG国内研修事業

日時 10月4日（金）～5日（土）

場所 （株）新来島どつく・大西工場

参加者 保坂・桐生幹事 以下11名

事務局 堀江

報告

2019年度中小企業委員会WGの研修視察先として、WGメンバーからの要望の強かった愛媛県今治市の

(株)新来島どつく・大西工場を訪問した。新来島どつくは創業明治 35 年の老舗造船所で、各種船舶の建造、修理及び解体、船舶用機器をあつかっており、多くの油圧機器も使われている。



(株)新来島どつく・大西工場（全景）

始めに新来島どつく・常務執行役員総務部長 森 克司 様より造船業界及び新来島どつくの概要説明があり、その後マイクロバスで船の建造工程(鉄板の切断・加工・組立)を見学した。東京ドーム約 8 個分の敷地面積で高層ビルのような巨大船舶の建造は、スケールの大きさに圧倒されるばかりであった。視察終了後尾道に移動し、参加メンバーで懇親会を開催し、今回の視察についての意見交換と次回の研修視察について話した。



研修視察団・集合写真

第 3 回中小企業委員会

日時 10 月 9 日（水）15：00 ～ 17：00

場所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 十万委員長以下 14 名

事務局 藤原、堀江

議事

①開会挨拶 十万委員長

②副会長講話会

昨年の石川会長講話会に続き、今年は副会長兼中小企業委員会十万委員長より「私の履歴書」と題してお話をいただきました。

十万は長宗我部元親の高知県十万城から由来し、父親が国家公務員であった為小学校は毎年転校しながら高学年で東京に落ち着いた。機械が好きで自動車やバイクへの興味がつよかった。高校ではラグビー部に没頭し、大学は少林寺拳法部に所属しながらキックボクシング新人王や数多くのアルバイトを体験。日本教育テレビ（現テレビ朝日）に入社し CM ディレクター。トラック運送業起業。広告代理店から中東で王様の前で少林寺の演武を披露、オマーンラリーに優勝など、多くの経験を経て現在の神威産業(株)に入社し、現職（代表取締役社長）に至るまでのお話いただいた。

③海外投資保険の説明

ワールドインシュアランスブローカーズ(株) 執行役員・富内啓之様より近年民間保険会社が参入している海外生産拠点に於ける投資先国でのリスク損失補償について説明頂いた。

④出席各社からの現況報告があり、各社の売上は横ばい、微増、微減と違いはあるが、海外輸出に不安要素があるとのこと。その後経産省・渡部係長より令和 2 年度 経産省関連(含. 中小企業庁)の概算要求について説明があった。



副会長講話会

次回開催： 2 月 12 日（水）

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆12 月 20 日（金）第 31 回政策委員会

（時 間）16:00～17:00

（場 所）当会会議室

＊2019 年

☆1 月 15 日（水）第 88 回理事会

（時 間）13:30～14:50

（場 所）東京プリンスホテル「高砂」
年始会

（時 間）15:00～16:30

（場 所）東京プリンスホテル
「マグノリアホール」

☆3 月 30 日（月）第 32 回政策委員会

（時 間）16:00～17:00

（場 所）当会会議室

☆4 月 17 日（金）第 89 回理事会

（時 間）15:30～16:50

（場 所）ザ・プリンスさくらタワー高輪
2F「コンファレンス N1～N4」
理事会懇親会

同 上 17:00～18:30

2F「コンファレンス N5～N8」

☆5 月 21 日（木）第 21 回定時総会

（時 間）15:30～16:50

（場 所）東京プリンスホテル
「サンフラワーホール」
総会後の懇親会

（時 間）17:00～18:30

（場 所）東京プリンスホテル芝公園
「マグノリアホール」

☆5 月 22 日（金）第 59 回 JFPA 懇親ゴルフ会

（場 所）程ヶ谷カントリー倶楽部

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

10 月に開催された当会各委員会に出席された皆様
は以下の通りです。（敬称略）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

（標準化事業／ISO 事業）

ISO/TC131 ミラノ国際会議

開催日 10 月 7 日（月）～10 月 16 日（水）

出席者

委 員 根本慎一郎（SMC）

〃 難波竹己（日本ポール）

〃 高牟礼辰雄（JFPA）

〃 中尾雅司（NOK）

〃 大沼恒久（NOK）

〃 吉田博文（キーパー）

〃 柳田秀記（豊橋技術科学大学）

〃 大林義博（KYB）

〃 大野淳一（JFPA）

〃 風間英朗（日本アキュムレータ）

〃 杉村健（日本アキュムレータ）

油圧バルブ分科会

開催日 10 月 30 日（水）

出席者

主 査 浦井隆宏（ボッシュ・レックスロス）

委 員 瀬川均（ダイキン工業）

〃 原健二郎（川崎重工業）

〃 安永和敏（東京計器）

〃 小林義伸（日立建機）

〃 山口正志（不二越）

〃 藤坂昌廣（豊興工業）

〃 高野一治（油研工業）

〃 八上光春（廣瀬バルブ工業）

（標準化事業／規格事業）

標準化委員会水圧システム分科会

開催日 10 月 10 日（木）

出席者

主 査 大林義博（KYB）

委 員 細井浩平（堀内機械）

〃 井口 務（廣瀬バルブ工業）

〃 田邊康伸（廣瀬バルブ工業）

〃 松村悠太（阪上製作所）

オブザーバー 黒須 寛（イハラサイエンス）

空気圧制御技術分科会

開催日 10 月 24 日（木）

出席者

主 査 渡辺敏之（TAIYO）

委 員 楊春明（SMC）

〃 鈴木一成（妙徳）

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 10 月 28 日（月）

出席者

主 査 難波竹己（日本ポール）

委 員 三好真介（MORESCO）

〃 遠藤剛（SMC）

〃 佐藤泰路（ボッシュ・レックスロス）

〃 水落桂（大生工業）

〃 大塚宏行（油研工業）

（技術調査事業）

油圧ポケットブック編集委員会

開催日 10 月 1 日（火）

出席者
委員長 北川能（東工大名誉教授）
主 査 渋谷文昭（東京計器）
委 員 満嶋弘二（KYB）
〃 加藤弘毅（KYB）
〃 山本裕（ボッシュ・レックスロス）
〃 渡部文雄（日本シリンダ共同事業）
〃 高野一治（油研工業）

技術委員会水圧部会

日時 10月10日（木）

出席者

部会長 宮川新平（JFPA）

委 員 大林義博（KYB）

〃 井口 務（廣瀬バルブ工業）

〃 田邊康伸（廣瀬バルブ工業）

〃 松村悠太（阪上製作所）

〃 細井耕平（堀内機械）

〃 相澤健二（日工産業）

〃 黒須 寛（イハラサイエンス）

〃 内田 晃（日本アキュムレータ）

〃 古本 篤（三輪精機）

〃 船坂 新（川崎重工業）

〃 安藤 進（オリオン機械）

〃 織井貞夫（丸山製作所）

〃 渡邊宣尚（豊興工業）

技術委員会空気圧部会

第564回特許分科会

開催日 10月11日（金）

出席者

幹 事 河野喜之（甲南電機）

委 員 井野雅康（SMC）

〃 今野英俊（コガネイ）

技術委員会油圧・空気圧部会若手技術者懇談会

日 時 10月24日（木）

出席者

部会長 油圧・満嶋弘二（KYB）

空気圧・井川 彰（CKD）

講 師 水谷 隆（㈱ミットヨ顧問）

参加者（油圧）

〃 白井敦士（川崎重工業）

〃 鋸屋 宜和（KYB）

〃 村田 学（KYB）

〃 金 星（ダイキン工業）

〃 弘中紀雄（TAIYO）

〃 辻田 友貴（タカコ）

〃 半崎 豊（天竜丸澤）

〃 小林 萌（東京計器）

〃 宮脇祐樹（南武）

〃 榎本亮太（日東工器）

〃 新井大二郎（日立建機）

〃 川澄翔平（日立建機）

〃 平野峻之（廣瀬バルブ工業）

〃 土師裕也（ボッシュ・レックスロス）

参加者（空気圧）

〃 猪原剛汰（SMC）

〃 藤枝 誉（SMC）

〃 木本圭介（SMC）

〃 松元謙治（SMC）

〃 安田善仁（甲南電機）

〃 高岡博貴（コガネイ）

〃 森口翔太（コガネイ）

〃 呉 杉（CKD）

〃 畑中翔太郎（CKD）

〃 三浦一輝（CKD）

〃 大石貴弘（TAIYO）

〃 松本恭輔（日東工器）

〃 寺尾 悠（栃木日東工器）

〃 阪口武史（日本精器）

技術委員会 技術企画委員会（第1回）

開催日 10月31日（木）

出席者

技術委員長 安木秀巳（油研工業）

油圧部会長 満嶋弘二（KYB）

空気圧部会長 井川 彰（CKD）

（広報・PR 関連事業）

第97回編集委員会

開催日 10月18日（金）

出席者

委員長 手塚 隆（KYB）

副委員長 水野純一（CKD）

WG主査 宮 能治（KYB）

顧 問 北川 能（元東工大）

委 員 佐藤俊明（SMC）

〃 小辻一雄（コガネイ）

〃 豊田敏久（川崎重工業）

〃 中垣智英（甲南電機）

〃 東川智信（TAIYO）

〃 松島嘉則（阪上製作所）

〃 宮坂 篤（油研工業）

〃 諸橋 博（東京計器）

（中小企業関連事業）

令和元年度中小企業 WG 国内研修事業

日時 10月4日（金）～5日（土）

参加者

幹 事 保坂 淳一（理研精機）

幹 事 桐生 邦彦（オックスジャッキ）

団 員 星 蔵貴（神威産業）

〃 高野 和治（光陽精機）

〃 森田 勇一（大生工業）

〃 小嶋 悠裕（南武）

〃 風間 英朗（日本アキュムレータ）

〃 杉崎秀之（廣瀬バルブ工業）

〃 藪中 直貴（堀内機械）

〃 浅香紀之（マツイ）

〃 高橋 友則（三尾製作所）

令和元年度第3回中小企業委員会

開催日 10月9日（水）

出席者

委員長 十万幹雄

副委員長 杉村 登夢（日本アキュムレータ）

委 員 松田庄三郎（光陽精機）

〃 澤田啓支朗（タイヨーインターナショナル）

〃 向 恭男（大生工業）

〃 小野慎一（廣瀬バルブ工業）

〃 高橋征爾（富士エンジニアリング）

〃 三尾行康（三尾製作所）

〃 渡部圭次（経済産業省）

代 理 吉富英明（南武）

〃 越湖修二（マツイ）

会 長 石川 孝（TAIYO）

～～～～～～～～

月間行事概要

～～～～～～～～

<10月>

1日（火）

・技術（委）油圧ポケットブック編集委員会

4日（金）～5日（金）

・中小企業 WG 国内研修事業

7日（月）～16日（水）

・ISO（委）ISO/TC131 ミラノ会議

9日（水）

・中小企業委員会

10日（木）

・標準化（委）水圧システム分科会

・技術（委）水圧部会

11日（金）

・西日本支部主催工場見学会

環境施設組合の舞洲工場

・第12回西日本支部総会及び第87回理事会

・技術（委）空気圧部会第564回特許分科会

18日（金）

・編集（委）第97回編集委員会

24日（木）

・技術（委）油圧・空気圧部会若手技術者懇談会

・標準化（委）空気圧制御技術分科会

28日（月）

・標準化（委）油圧フィルタ・作動油分科会

30日（水）

・ISO（委）油圧バルブ分科会

31日（木）

・技術（委）技術企画委員会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

『お詫びとお知らせ』

統計資料は、データが一部未着のため、次号に掲載させていただきます。